見附市立見附第二小学校　学校だより第１０号②

杉の子

令和７年２月４日（火）
見附市杉澤町3561番地
TEL　0258-62-0314
教育目標「学びを高める子ども」
https://www.city.mitsuke.niigata.jp/site/mdaini/

後期学校評価と次年度の取組について（お知らせ）

今年度、「自他のよさを認め、よりよい学校生活をつくりだす子どもの育成 ～表現力の高まりを目指して～」を重点目標とし、「楽しい学校・美しい学校・鍛え合う学校」を目指し、教育活動を進めております。12月の各種アンケート結果等をもとに、今年度２回目の学校評価を実施しました。その結果と次年度の取組の概要をお知らせいたします。

後期学校評価の概要

○知育（確かな学力）、徳育（豊かな心）、体育（健やかな心身）ともに、すべてA評価でした。
○市内１位の項目を挙げると、「学校以外で、読書を1週間に４日以上している児童」53.6%（市内小学校平均34%）、「家のお手伝いや仕事を１週間に４日以上している児童」67.9%（平均54%）、「地域の人にあいさつをしている児童」92.9%（平均81%）、「花や緑を育てることや世話することが好きな児童」78.6%（平均73%）などです。学校での頑張りだけでなく、ご家庭での取組のお陰です。ありがとうございます。これからも、ご家庭と協力するとともに、より啓発活動を進めてまいります。よろしくお願いいたします。

「知育」「徳育」「体育」については、次のとおりです。

１ 知育（確かな学力）－基礎基本を身に付け、深く考える子どもの育成－

【成果目標に対する評価】

※肯定的回答が 80%以上はA、70%以上 80%未満はB

成果目標	評価 後期	
① 学力がつくように熱心に教えてくれる（児童）	A	①の肯定的評価は100％、②は94.4%でした。一人一人の児童に寄り添った指導・支援に努めたことで成果が見られました。しかし、より工夫が必要なことも分かりました。
② 適切な学習指導がなされている（保護者）	A	

【次年度に向けて】
○素直で勤勉な児童が多い反面、主体的に学ぶことに課題があります。複式学級での少人数指導のよさを生かし、児童がより学ぶ楽しさを味わえるよう、指導方法を工夫していきます。
○学校でのプランニングの時間を確保したり、家庭学習の内容や方法を紹介したり、クロームブックを活用したりする等、家庭学習が充実するようにしていきます。

2 徳育(豊かな心)－自他を大切にのびのびと生活する子どもの育成－

【成果目標に対する評価】

※肯定的回答が 80%以上はA、70%以上 80%未満はB

成果目標	評価 後期	
① ふるさとが好き（児童）	A	①②③とも肯定的評価は100%でした。見附市の教育理念、「ふるさと見附を愛する子ども」「世に役立つことを喜びとする子ども」の姿を具現しています。地域環境を生かし、地域の方々と関わる学習を進めた成果が表れています。
② 人の役に立つ人間になりたい（児童）	A	
③ 地域の特色を生かした学校づくりを進めている（保護者）	A	

【次年度に向けて】

○学校行事や学習においても、見附第二小学区やふるさと見附のよさが実感できるよう、総合的な学習の時間「杉の子プラン」をもとに、見附第二小でしかできない、見附第二小だからできる取組を、保護者、地域の方々と協働しながら進めていきます。特に、杉沢の森探検、臨海教室、スキー教室、サケの稚魚の飼育・放流は特色ある活動として取り組みます。

○全校縦割り班活動、委員会、クラブ等の異年齢集団での活動で様々な役割を経験させ、共生意識、自己有用感を高めていきます。

3 体育(健やかな心身)－自分の健康･元気を自分でつくる子どもの育成－

【成果目標に対する評価】

※肯定的回答が 80%以上はA、70%以上 80%未満はB

成果目標	評価 後期	
① 睡眠を８時間以上している（児童）	A	睡眠を８時間以上している児童は89%と昨年度後期より５%増えています。取組の成果が表れています。
② 体育の授業が好き（児童）	A	体育の授業を好きな児童が前期同様100%です。楽しみながら行える運動遊びやボールゲーム等を取り入れた成果です。

【次年度に向けて】

○望ましい生活習慣を育むよう、専門家を招いての指導、ローメディアデーでの活動等、家庭と協力して取組を進めていきます。

○体育の授業では、めあてと見通しをしっかりもたせて取り組ませ、振り返りを行うことで自分の頑張りや成長が実感できるよう働きかけていきます。異学年合同体育、全校体育を実施し、後輩が先輩の態度や動きを見て学ぶ姿を、先輩は後輩の頑張りを認め優しく励ます姿を目指していきます。クロームブックで自分たちの動きを動画で見ることは有効でした。次年度も、どのような場面でクロームブックが活用できるのかを検討していきます。